

第 26 回 栗東市景観百年審議会の議事概要

1 開催日時 令和3年12月2日（木） 10時00分から11時35分まで

2 開催場所 栗東市危機管理センター2階 防災研修室

3 出席者数 10名中8名

4 議事等

- 協議事項 ①第25回景観百年審議会でのご意見について
②屋外広告物賞の実施方法について

5 議事等概要

協議事項

- ①第25回景観百年審議会でのご意見への対応について説明。
②屋外広告物賞の実施方法について事務局案を説明。

○意見概要

■②について（①については特に意見なし。）

- （委員）周知の方法が市のホームページと広報だけでは足りないのではないかと。季刊誌のようなものを作ってもいいのではないかと。
- （事務局）今回は案のとおり周知方法を進めていきたいと考えているが、次回は参考にして検討したい。
- （委員）栗東市や歴史街道をアピールできる看板がもっとあってもいいのではないかと。
- （会長）栗東市の推奨モデルになるような案内看板が出来るといい。施策の1つとして検討してもらえるといいのではないかと。
- （委員）屋外広告物賞の募集対象として、地域の地名などの石碑は対象になるのか。
- （事務局）そのような石碑は法令的に屋外広告物には該当しない。彫像なども対象外である。
- （委員）自治会名が入った看板などは広告物にあたらぬのか。
- （事務局）それについては対象になり得る。
- （委員）応募用紙に、「他薦の場合は広告主の同意が必要です」となっているが、一般市民が同意を取るの難しい。市が確認することはできないのか。
- （事務局）まずは応募者から確認してもらい、市からも再度確認したいと考えている。写真の個人情報や使用許可の有無が問題になったことがあり、トラブルを防ぐために事前に確認をしていただくように記載している。
- （委員）他薦をする一般の方は誰が所有者や施工者などが分からない。市が所有者に対して他薦されてもいいかを確認し、応募者に対しては写真を使用させてもらう旨を応募用紙に記載しておいてはどうか。
- （事務局）ご意見を参考にし、事務局で確認できる方法を検討する。
- （委員）東海道沿いと国道沿いではそれぞれの街並みに相応しい広告物があり、そういった観点からも審査が必要ではないかと。例えば国道沿いであれば、新しい技術が使われており、それが街並みにマッチしているということも考えられるのではないかと。

- (事務局) 賞については3種類あり、その中に伝統的なものと新しいデザインで景観調和しているものも考えている。
- (会長) 同じ景観調和広告物でも、東海道と国道では違う評価の視点で考えないといけない場合もある。
- (委員) 栗東らしさや市の目指す「風格都市りっとう」がイメージしにくい。言葉が先行している気がする。
- (会長) 栗東らしさを作っていくのがこれからの景観施策だと思う。目標を設定して何十年かけて目指しているところにもっていく必要がある。
- (委員) 今の時期から、住民と議論して景観地区などの合意が出来れば、百年後くらいに綺麗な街並みができる可能性がある。そういうことも踏まえて、長期的に検討して取り組んでいく必要がある。
- (委員) 東海道について、大津市と草津市が連携して共通看板を作っているが栗東市では検討しているのか。また、東海道沿いには、各家に「何々屋」という屋号の看板があるが、そういう事業を継続して取り組んでいくのもいいのではないか。
- (事務局) 共通看板については一度確認するが、連携を図れる部分は図っていききたい。屋号の看板については、継続していける方法を検討したい。
- (会長) 景観というものが市民の暮らしの中でどういう役割を果たしてくれるのかということをもう少し深く理解していただいたり、そこから次の行動に移してもらうように広めていくことが、この審議会としては1番大事なことである。根気よく景観という言葉をも市民の方に伝えていくことが必要であり、この屋外広告物賞という機会を大いに活用して、市民に働きかけるということをやってもらいたい。
- (委員) とにかくやってみて、実績を作ることで市民に浸透していくのではないかと思う。1番大切なのは継続することであり、繰り返して景観についてアピールすることが必要である。
- (委員) 国道沿いなどに強い規制をかけると、新たな技術などに規制がかかり、百年先には遅れた街並みになる可能性もある。守っていくべき街道沿いと、発展していくべき道沿いを一緒に考えるとわかりにくくなる。
- (委員) 変わることが悪い訳ではないが、ある程度の規制を決めた上で発展していくことが重要である。
- (会長) 街道沿い、国道沿い、住宅地、中山間地など栗東市にも色々な景観があるので、それぞれに合った景観というものを考えていく必要があるとのご意見をいただいている。今回の広告物賞についても、それぞれの景観に相応しい賞を想定して作っているが、委員の皆様には審査の際にそういったことも踏まえて審査をしていただきたい。

(以上)